

# 令和6年度 事業報告書

社会福祉法人 遊歩の会

# 令和6年度 法人本部 事業報告書

1. 事業実施期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日

## 2. 概要

### ○今年度の成果

経営面では、年度当初は利用率が定員に及ばない事業所が収入面の課題となっていたが、年度末には定員に近づけることができたため4年ぶりの黒字となった。近年まれに見る物価の高騰や現校舎建物の購入等で支出も多かったが、全体の収支に影響することはなかった。今後、大きな施設整備を控えているため、更なる収支の安定を図りたい。施設の建替えに関しても、昨年度国からの内示がおりず計画自体を延期したが、再度、長崎市へ補助金申請書類を1月に提出し、3月にヒヤリングも行われた。国との協議の対象事業としての取扱いとして優先順位第1位との通知があった。補助金内示の時期は7月頃の予定。

職場環境については、企業面談会等への積極的な参加、インターンシップ受入準備、学校訪問等により若年者へのアピールや採用に力を入れ、高校新卒者2名に内定を出すことができた。法人本部の組織体制及び運営については、経理・人事労務・運営の部門において事象の共有を図りながら役割を分担し効率的に業務を遂行することができた。本部会議、管理者会議、本部職員会議については、パソコンで議事資料を共有しペーパーレスに努めた。

法人行事の「ゆうほまつり」は10月に開催し、利用者、ご家族からも好評であった。地域においても古賀地区まちづくり協議会への参加により、古賀地区における課題や魅力を再認識でき、各行事への参加等、法人として協力できることの実践に努めた。各事業所においても所属自治会の清掃や公園等でのごみ拾いなど地域への貢献活動を行うことができた。また、戸石町にある障害福祉サービス事業所遊歩においては、令和6年度長崎県福祉のまちづくり賞を受賞し、事業所を通して地域との繋がりの重要性を再認識する機会を得た。

### ○次年度の課題（継続）

- ・法人経営の安定化（全事業所 利用率100%を目指す）
- ・手元資金の充実
- ・施設建替え実行に向けての諸準備
- ・地域貢献活動の継続

## 3. 職員体制（本部）

職 名	氏 名
理事長	橋口 幸恵
業務執行理事・経理部門責任者	松浦 晃己
業務執行理事・人事労務部門責任者	三浦 宏
管理者・運営部門責任者	馬場 友香里
事務長（経理）	前田 忍
事務員（総務・広報）	村中 希

※法人全体

R 6. 3. 3 1	職員 4 5 名、準職員 2 1 名、短期登録職員 5 名	計 7 1 名
↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入職 (職員 4 名、準職員 5 名、短期登録職員 2 名)</li> <li>・ 退職 (職員 6 名、準職員 1 名)</li> </ul>	
R 7. 3. 3 1	職員 4 3 名、準職員 2 5 名、短期登録職員 7 名	計 7 5 名

#### 4. 理事会の開催

	開催日時	議 題	場 所
第 1 回	5 月 7 日 (火)	①建物(古賀町 949 番地)購入の見積り合わせ金額 ならびに売買契約について ②令和 6 年度当初予算(案)について	書面決議
第 2 回	5 月 2 5 日 (土) 10 : 00 ~ 11 : 10	①理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告 ②令和 5 年度事業報告について ③令和 5 年度決算報告及び監査報告について ④社会福祉充実残額の報告及び社会福祉充実計画 について ⑤経理規程の改訂(案)について ⑥令和 6 年度第 1 回評議員会の開催について	遊歩の会 2 階
第 3 回	9 月 2 7 日 (金)	①就業規則の改訂について ②賃金規程の改訂について	書面決議
第 4 回	1 1 月 3 0 日 (土) 9 : 30 ~ 10 : 15	①理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告 ②公印規程の改訂(案)について	遊歩の会 2 階
第 5 回	R7. 1 月 6 日 (月)	①定款変更について ②定款変更に係る評議員会の開催について ③社会福祉施設等整備計画ならびに補助金申請に ついて	書面決議
第 6 回	3 月 1 5 日 (土) 10 : 00 ~ 11 : 20	①理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告 ②令和 6 年度補正予算(案) ③令和 7 年度事業計画(案) ④令和 7 年度収支予算(案) ⑤就業規則改訂(案)について ⑥賃金規程改訂(案)について ⑦育児・介護休業規程(案)について ⑧評議員選任・解任委員の補充(2 名)について	遊歩の会 2 階
第 7 回	3 月 2 6 日 (水)	①設計事務所への業務費用支払いについて	書面決議

#### 5. 評議員会の開催

	開催日時	議 題	場 所
第1回	6月18日(火) 18:30~19:30	①令和5年度事業報告について ②令和5年度決算報告及び監査報告について ③社会福祉充実残額の報告及び社会福祉充実計画について	遊歩の会1階
第2回	R71月12日(日)	①定款変更について	書面決議

## 6. 監事による監査

- (1) 監査実施日 令和6年5月13日(月) 10:00~16:00
- (2) 監査内容 令和5年度の法人の事業報告及び会計収支決算ならびに財務状況等
- (3) 監査報告 令和6年5月16日に監査報告あり。理事会5/25、評議員会6/18に報告および長崎市長へ報告
- (4) 定期監査(会計) 7/8、9/24、11/12、1/23、3/26、4/22 の計6回  
法人の財務状況に関し全般的な監査

7. 行政実地指導監査 実施なし

8. 法人指導監査 実施なし

## 9. 発生(事故)等件数

本部事業所内：事故0件、発生5件、ヒヤリハット10件

法人全体：事故報告(行政報告事例)0件、苦情1件

発生報告の内、交通事故(軽微接触含む)19件、利用者職員の怪我(受診)9件

## 10. 年間行事(研修・会議等)

	全体	事業所内
4月	入社式、イオン黄色いレシート贈呈式、合同運動会、法人歓迎会	
5月	感染症対策委員会、避難訓練	環境整備、避難訓練
6月		
7月	人事考課、遊歩の会だより発行、法人研修、AED講習(地区センター)	
8月	古賀地区納涼夏祭り参加、インターンシップ受入	環境整備
9月	感染症対策委員会、家族会バスハイク	
10月	入社式、感染症対策委員会、ゆうほまつり青年協会おくんち前夜祭参加	
11月	避難訓練、インフルエンザ予防接種、ハートエンター文化祭出展	環境整備、避難訓練(地区センター合同)
12月	法人忘年会	
1月	感染症対策委員会、心身障害者団体連合会成人式参加	初詣(矢上神社)

	人事考課	
2月	遊歩の会だより発行、法人研修、健康診断	環境整備
3月	感染症対策委員会	
通年行事	辞令交付式（対象月）、本部会議（週1回）、 管理者会議（月1回）、運営委員会（月1回）、 税理士巡回（月1回）、社会保険労務士巡回（月1回）、 嘱託医巡回（月1回）、プロジェクト会議、 ゆうほまつり実行委員会、合同運動会実行委員会	職員会議（月1回）、 事業所内研修（月1回）、 サポート面談（月1回）

○求人活動

6/16 ふくしの仕事就職フェア、6/20 ながさき合同企業説明会、  
10/22 障害福祉のお仕事フリー面談会、11/30 しごとみらい博

○必須研修

- ・虐待防止研修（集合研修）R7.2.18(火)、20(木)19:00～
- ・ハラスメント対策研修（集合研修）「コンプライアンス研修」R6.7.2(火)、3(水)19:00～
- ・感染症対策研修  
各事業所にて「食中毒について学ぼう」6月  
各事業所にて「冬場の感染症を拡げないために」11月

○その他の研修等

- ・支援研修  
5/24「応急処置勉強会」16名、9/27「身体介護の基礎」7名、1/21「支援記録のポイント」9名
- ・法人内監査6～7月：事業所巡回（ファイリングチェック、環境チェック、法令遵守チェック等）
- ・キャリア別研修  
新人研修：理念・規則・マナー・制度・事業所体験等の入社時プログラム 4月～、10月～  
3年目研修：理念・キャリアアップ・会議・PDCA サイクル 6/20  
5年目研修：理念・役割・ファシリテーション・チームによる企画自主研修 6/25～  
7年目研修：「自分プロジェクト～行動力アップ研修～」9/7、8（～6ヶ月）  
管理職研修：2/16(日)10:00～15:00 「役職者のマネジメントと役割」  
「発達障害の理解から事業所崩壊を防ぐ」
- ・フォローアップ面談（入社・異動3ヶ月後）

11. 寄付金品等

- |          |                  |          |
|----------|------------------|----------|
| 1. 現金 2件 | 中田 修治 様          | 200,000円 |
|          | たかすぎ内科クリニック 様    | 150,000円 |
| 2. ギフト券  | イオン黄色いレシートキャンペーン | 37,500円  |
| 3. 菓子    | ふれふれ遊歩利用者ご親族様    |          |

12. 受贈

1. 24時間テレビ福祉車両 1台（トヨタ ノア）

# 令和6年度 ゆうほ 事業報告書

1. 事業実施期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日

2. 開所日および開所時間 月曜日～土曜日 8:00～17:00  
 ※日曜、祝祭日、8月15日、12月30日から1月3日を除く

3. 開所日数および利用状況 (1日の利用定員20名)

R6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	25	24	25	26	24	24	25	24	24	23	23	25	292
延べ利用者数	397	402	405	413	369	377	398	377	395	372	329	390	4624
平均利用人数	15.9	16.7	16.2	15.9	15.3	15.7	15.9	15.7	16.4	16.1	14.3	15.6	15.8
R5平均利用人数	15.7	15.9	14.9	14.4	13.7	13.5	14.2	14.4	14.9	14.2	14.3	14.4	14.5

## 4. 職員勤務体制

管理者・・・・・・・・・・・・・・・・・・1名(常勤兼務「相談支援事業所あゆむ」と兼務)  
 サービス管理責任者兼支援員・・・・・・・・・・1名(常勤)  
 生活支援員・・・・・・・・・・・・・・・・・・12名(常勤8名 非常勤4名)  
 生活支援員兼看護師・・・・・・・・・・・・・・・・・・1名(非常勤)  
 生活支援員兼事務員・・・・・・・・・・・・・・・・・・1名(常勤兼務「相談支援事業所あゆむ」と兼務)  
 運転士・・・・・・・・・・・・・・・・・・2名(非常勤)

## 5. 事業内容

### (1)個別の活動やレクリエーション

個別訓練, 音楽活動, 絵画工作, 健康・運動, 調理, 地域散策,  
 その他日常生活支援(食事・排泄等の支援), 入浴サービス

### (2)地域活動

外出活動: 諫早総合運動公園散策, 結の浜, スポーツパークいさはや, アエル諫早,  
 長崎県立美術館, なごみの里運動公園, アエルいさはや, 九十九島水族館海きらら  
 スタジアムシティ, その他買い物活動(各店舗)

### (3)実習受け入れ

時和特別支援学校高等部  
 長崎特別支援学校高等部

### (4)施設実習受け入れ

長崎女子短期大学幼児教育施設実習  
 長崎医療こども専門学校保育こども科保育実習  
 社会福祉協議会「介護等実習」受け入れ  
 社会福祉法人寿光会「介護福祉士実務者研修」施設研修

### (5)その他 利用者面談、健康診断、環境整備活動、避難訓練

### (6)事故報告(0件) 発生報告(10件) ヒヤリハット(202件)

6. 会計 別添報告書参照

## 7. 職員研修

- ・法人研修（事業所目標、虐待防止研修、ハラスメント対策、感染症対策、入社7年目研修、支援研修）
- ・管理職研修1回
- ・サポーターズカレッジ研修（月1回）
- ・事業所内研修（月1回）
- ・外部研修（AED講習、強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）、ペアレントトレーニング「保護者支援・家族心理教育研修会」、長崎県障害者虐待防止・権利擁護研修会、相談支援従事者初任者研修、安全運転管理者講習、福祉塾（全5回））

## 8. 工賃の支払い

バイオパーク売店の売上から材料費を差し引いた、50,432円を利用実績に応じて分配した。

## 9. 今年度の成果

- ・利用者の「好きな事」「得意な事」に注目し、個別の活動カードを作成。利用者についての理解を深めるよい機会になった。
- ・歯科衛生士のボランティアの方が月に2~3回来所され、口腔ケアについて指導を受けている。日々の口腔ケアが充実してきた。
- ・ケース会議の開催時間を見直し、業務改善につながった。
- ・担当者会議に職員が参加し、他事業所の見学や利用者の情報を共有することができた。

## 10. 来年度への課題

### ・支援スキルの向上

身体的に重度の方の利用が増え、身体介助について学ぶことが必要。事業所内研修で実施する。

### ・人材の確保。生活支援員、看護師、運転士

### ・建て替えに向けた計画、準備

仮拠点での活動の充実。グループ分け。新社屋の内装、設備、備品の検討。

### ・法人内、外の他事業所、他機関との連携強化

情報を共有し、統一した支援を行う。事業所見学、リハビリ見学などを実施し、ゆうほで出来る事を取り入れる。

### ・個別活動の強化

「個別活動カード」の活用。必要に応じて更新する。

# 令和6年度 相談支援事業所あゆむ 事業報告書

1. 事業実施期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日

2. 開所日および開所時間 月曜日～土曜日8時30分から17時30分  
 ※日曜、祝日、国民の休日、8月15日、12月30日から1月3日を除く

3. 開所日数および利用状況

R6年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		25	24	25	26	24	24	25	24	24	23	23	25	292
計画相談	相談更新	8	8	5	10	7	8	5	6	2	3	10	3	75
	相談モニ	5	12	8	13	11	11	11	6	13	8	12	11	17
	サービス提供時加算	30	26	28	20	26	28	27	26	28	23	11	0	273
障害児相談	児更新	4	3	2	2	5	0	0	1	9	2	1	0	11
	児モニ	1	4	0	0	3	7	0	7	1	6	1	5	5
	サービス提供時加算	17	12	18	16	18	0	2	4	17	10	19	0	133

\* 令和7年3月末契約者数 障害児相談21名 計画相談85名 計106名

4. 職員勤務体制

- 管理者・・・・・・・・・・1名(常勤兼務)「ゆうほ」と兼務
- 相談支援専門員・・・・・・・・1名以上(各事業所管理者が兼務)
- 相談支援専門員補助(事務担当)・・1名(常勤兼務)「ゆうほ」と兼務

5. 事業内容

- (1) 利用者が自立した日常生活又は社会生活が営むことができるよう、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者又は障害児の保護者の選択に基づき、適切な保健、医療、福祉、就労支援、教育等のサービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行う。
- (2) 特定相談支援事業等の運営は、市町村、障害福祉サービス事業者等との連携を図り、地域において必要な社会資源の改善、開発に努める。
- (3) 特定相談支援事業等の実施にあたっては、利用者又は障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者又は障害児の保護者の立場に立って、計画作成対象障害者等に提供される障害福祉サービス等が特定の種類又は特定の障害福祉サービス事業者等に不当に偏ることのないよう、公正中立に行われるよう努める。

事業の実施地域は、長崎市、諫早市、時津町、長与町(事業所から片道30分圏内)

特定計画相談支援等の提供方法及び内容

- (1) 日常生活全般に関する相談
- (2) 地域の障害福祉サービス事業者等への情報提供
- (3) サービス利用計画又は障害児支援利用計画の作成及び評価
- (4) 訪問による継続的なモニタリング

(5) 前各号に付帯する便宜

(6) (1) から (4) に付帯するその他必要な相談支援、助言等。

## 6. 会計 別添報告書参照

## 7. 職員研修その他

- ・ 法人研修（虐待防止研修、ハラスメント対策、感染症対策）
- ・ 管理職研修 1 回
- ・ 外部研修（やがみの会（東長崎地区相談支援部会）、長崎市障害者基幹相談支援センター（事例検討会）、事例から学ぶ高次脳機能障がい者の就労支援、長崎県就労選択支援研修会）

## 8. 今年度の成果

- ・ 毎月月初めに会議継続実施。
- ・ 長崎市東部地区相談支援連絡会への参加，長崎市障害者基幹相談支援センター主催の事例検討会へ参加。他事業所の相談員とのつながりが生まれ、困難事例などの相談をすることができた。
- ・ 担当者会議に事業所職員に参加してもらう機会を作った。

## 9. 来年度への課題

- ・ 事業所書類の整理
- ・ 入所施設の現状把握
- ・ 担当者数の最適化

# 令和6年度 児童デイサービスゆうゆう 保育所等訪問支援ゆうゆう

## 事業報告書

1. 事業実施期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日

2. 開所日および開所時間 月曜日～土曜日  
 平日 学校終了後～17:30  
 学校休業日 9:00～16:00  
 ※日曜、祝祭日、8月15日、12月30日から1月3日を除く  
 ※保育所等訪問支援 10:00～17:00

3. 開所日数および利用状況 (1日の利用定員10名)

※放課後等デイサービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	24	25	26	24	23	26	24	24	23	23	25	292
延べ利用者数	295	277	263	286	261	273	299	287	261	273	244	292	3,311
平均利用者数	11.8	11.5	10.5	11.0	10.9	11.9	11.5	12.0	10.9	11.9	10.6	11.7	11.3
前年度平均利用者数	8.8	9.1	9.2	9.3	9.2	9.3	9.5	9.5	9.0	9.5	9.2	10.6	9.3

※保育所等訪問支援 (令和6年9月1日開所)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数						23	26	24	24	23	23	25	292
延べ利用者数						0	0	1	0	3	1	2	7
前年度平均利用者数													

#### 4. 職員勤務体制

- 管理者兼児童指導員兼訪問支援員・・・1名 (常勤)
- 児童発達支援管理責任者・・・1名 (常勤)
- 心理指導担当職員・・・1名 (常勤)
- 保育士・・・1名 (常勤)
- 児童指導員・・・3名 (常勤1名、非常勤2名) [常勤1名休業中]
- 児童指導員兼訪問支援員・・・2名 (常勤)
- 児童指導員兼事務員・・・1名 (常勤)

#### 5. 事業内容 放課後等デイサービス

- (1) 日常生活訓練：活動の中で日常生活に必要な基本的動作の習得をするための支援を行った。  
(食事、排泄、更衣等)
- (2) 社会適応訓練：公共施設の利用に関する利用方法を事前に説明し、ルールやマナーなどを意識できるように取り組んだ。(ふれあいセンター、図書館、買い物、青年の家、公園等の利用)  
イブニングキャンプと称し、3月に通常よりも開所時間を遅らせ、野外炊飯や花火など、普段と違った体験を行った。
- (3) 創作的活動：様々な活動を提供し、それぞれの楽しさや学びの機会を設けた。仲間と活動を行うこ

とで、個人の考えのみでなく、協力することの嬉しさや難しさを感じることでできる機会へ繋がった。(工作、絵画、音楽、調理、等)

日頃の活動を披露する場として、8月に発表会を開催した。

- (4) 相談支援：要保護対応協議会、相談支援事業所や地域の通所支援事業所、教育機関等と連携しながら家族等の相談援助を行なった。(個別面談の実施、担当者会議への参加)
- (5) 送迎：サービス実施地域内において、学校、自宅への送迎サービスを行った。
- (6) 延長：個別のプログラムを作成し、延長対応を行った。
- (7) 事業所通信の発行：ゆうゆうニュースを毎月1回発行し、活動の様子をご家族に伝えた。
- (8) 保護者交流会、保護者勉強会：6月に保護者同士の交流会、9月に児童3事業所合同でのペアレントトレーニング勉強会を行った。
- (9) ・事故報告(0件) ・発生報告(20件) ・ヒヤリハット(224件)

#### 事業内容 保育所等訪問支援

- (1) 集団活動における基本的動作の訓練及び援助
- (2) 集団活動先の職員への相談援助
- (3) 対象児保護者への相談援助及び連絡報告
- (4) 個別支援計画、モニタリングを通じての発達支援

#### 6. 会計 別添報告書参照

#### 7. 職員研修その他

- ・法人研修(事業所目標、虐待防止研修、ハラスメント対策、感染症対策、支援研修)
- ・管理職研修1回
- ・サポーターズカレッジ研修(月1回)
- ・事業所内研修(月1回)
- ・外部研修(令和6年度報酬改定解説セミナー、ペアレントトレーニングと家族支援、心理教育プログラム導入・実践のための講習会、こども部会情報交換会、報酬改定勉強会、強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)、サービス管理責任者基礎研修、相談支援従事者初任者研修、AED講習、虹の原特別支援学校学校公開、発達障がい児、知的障がい児支援のためのSST講習会、保育所等訪問支援事業所連絡会)

#### 8. 今年度の成果

- ・年度始めから利用率を安定させることができた。
- ・活動プログラムを作成し、習慣化させることができた。
- ・専門的実施プログラムを立てることによって、個々の利用者の課題が明確になった。
- ・職員研修を充実させることができた。

#### 9. 来年度への課題

- ・利用率の定着
- ・保育所等訪問支援、契約者を増やしていく。
- ・利用者家族支援
- ・支援のスキルアップ
- ・地域交流

# 令和6年度 児童デイサービスふれふれ遊歩 保育所等訪問支援ふれふれ 事業報告書

1. 事業実施期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日

2. 開所日および開所時間 月曜日～土曜日  
 平日 学校終了後～17:30  
 学校休業日 9:00～16:00  
 ※日曜、祝祭日、8月15日、12月30日から1月3日を除く  
 ※保育所等訪問支援 10:00～17:00

3. 開所日数および利用状況 (1日の利用定員10名)

**\* 放課後等デイサービス**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	24	25	26	24	24	26	24	24	23	23	25	293
延べ利用者数	280	274	282	299	291	287	280	256	241	244	237	282	3253
平均利用者数	11.2	11.4	11.3	11.5	12.1	12	11.2	10.7	10.0	10.6	10.3	11.3	11.1
前年度平均利用数	11.4	10.2	10.4	11.3	10.7	11.3	10.9	10.3	11.1	10.7	10.8	11.4	10.9

**\* 保育所等訪問支援**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	24	25	26	24	25	26	24	24	23	23	25	293
延べ利用者数	8	10	10	4	0	4	8	8	9	6	6	5	78
前年度平均利用数	0	5	5	7	0	10	9	11	10	10	10	12	89

4. 職員勤務体制

- 管理者兼児童支援員 . . . . . 1名(常勤)
- 児童発達支援管理責任者 . . . . . 1名(常勤)
- 児発管兼訪問支援員兼児童指導員 . . . . . 1名(常勤)
- 児童指導員兼訪問支援員 . . . . . 1名(常勤)
- 保育士 . . . . . 1名(常勤)
- 指導員 . . . . . 2名(常勤1名、非常勤1名)
- 児童指導員兼事務員 . . . . . 1名(非常勤)

5. 事業内容(放課後等デイサービス)

- (1) 日常生活訓練: 活動の中で日常生活に必要な基本的動作の習得をするための指導を行った。(食事、排泄、更衣、入浴・歯磨き等)
- (2) 社会適応訓練: 公共施設や公共機関の利用、集団活動を通してその場にあった行動が出来るような指導を行った。(映画、図書館、買い物、カラオケ、ボーリング、科学館、公園等の利用)
- (3) 創作的活動: 様々な活動を提供し、その中で好きな活動を見つけ、自分から選んで参加したり、仲間と一緒に楽しんだりすることが出来るように活動を行った。(工作、絵画、音楽、調理、等)
- (4) レクリエーション: 家族を招待して行事活動を行った。

- (5) 相談支援：相談支援事業所や地域の通所支援事業所、教育機関等と連携しながら家族等の相談援助を行なった。(個別面談の実施、担当者会議への参加、保護者会を通して勉強会)
- (6) 送迎：サービス実施地域内において、学校、自宅への送迎サービスを行った。
- (7) 事業所通信の発行：ふれふれニュースを毎月1回発行し、活動の様子を家族に伝えた。
- (8) 事故報告(0件) 発生報告(6件) ヒヤリハット(83件)

#### 事業内容(保育所等訪問支援)

- (1) 集団活動における基本的動作の訓練及び援助
- (2) 集団活動先の職員への相談援助
- (3) 対象児保護者への相談援助及び連絡報告
- (4) 個別支援計画・モニタリングを通じた発達支援

#### 6. 会計 別添報告書参照

#### 7. 職員研修その他

- ・法人研修(事業所目標、虐待防止研修、ハラスメント対策、感染症対策)
- ・管理職研修1回
- ・サポーターズカレッジ研修(月1回)
- ・事業所内研修(月1回)
- ・外部研修(小児領域限定 SST 講習会、視覚障害生活支援研修会、ICT 導入研修、甲種防火管理者講習、点字の打ち方、点訳の仕方、令和6年度報酬改正について理解を深めよう、ペアレントトレーニングと家族支援、心理教育プログラム、児童発達支援管理者研修、点字ボランティア育成基礎講座、長崎県相談支援従事者初任者研修、強度行動障害支援者養成研修)

#### 8. 今年度の成果

- ・今年度は利用率平均 11.1、延人数は 3253 人と昨年度を上回り安定した収入を維持することができた。
- ・報酬改定での新加算である専門的支援を実施することで支援の充実と収入増へとつなげることが出来た。
- ・今年度の課題でもあった記録の取り方を意識し職員が取り組むことが出来た。
- ・補助金を活用し、防犯カメラを設置することにより、虐待防止、防犯意識の向上へとつなげることができた。
- ・祝日を開所し遠方へのバスハイク(メルヘン村)を実施し、一年に一回の楽しみ活動として定着してきた。

#### 9. 来年度への課題

- ・土曜日利用者の申し込みの低下が見られるため、参加したくなるふれふれ遊歩らしい活動内容を実施する。
- ・支援プログラムの充実化と定着。
- ・毎日の個別プログラムの充実と支援スキルの向上。
- ・新人職員の育成。

# 令和6年度 児童デイサービスゆうみん 事業報告書

## (放課後等デイサービス・児童発達支援)

1. 事業実施期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日

2. 開所日および開所時間 月曜日～土曜日

平日 9:30～17:30

学校休業日 8:00～16:00

※日曜、祝祭日、国民の休日、8月15日、12月30日から1月3日を除く

3. 開所日数および利用状況 (1日の利用定員10名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	24	25	26	24	24	25	24	24	23	23	25	292
延べ利用者数(放デイ)	195	187	200	232	235	199	196	203	196	193	165	222	2423
延べ利用者数(児発)	9	10	8	11	9	13	17	13	16	21	20	27	174
平均利用者数	8.2	8.2	8.3	9.4	10.3	8.8	8.5	9	8.8	9.3	8.0	9.9	8.9
前年度平均利用者数	6.5	6.8	6.9	6.7	7.7	7.0	6.6	7.1	7.8	7.3	7.7	8.9	7.3

4. 職員勤務体制

管理者兼児童指導員・・・1名(常勤)

児童発達支援管理責任者・・・1名(常勤)

保育士・・・2名(常勤)

児童指導員・・・3名(常勤1名、非常勤2名)

指導員・・・2名(常勤1名、非常勤1名)

児童指導員兼事務員・・・1名(非常勤)

5. 事業内容(放課後等デイサービス、児童発達支援)

(1) 日常生活訓練: 活動の中で日常生活に必要な基本的動作の習得をするための支援を行った。

(食事、排泄、更衣等)

(2) 社会適応訓練: 公共施設や公共機関の利用、集団活動を通してその場にあった行動が出来るような支援を行った。(公園の利用、外食活動、公共交通機関への乗車、買い物活動)

(3) 創作的活動: 様々な活動を提供し、その中で好きな活動を見つけ、自分から選んで参加したり、仲間と一緒に楽しんだりすることが出来るように活動を行った。(工作、絵画、音楽、調理、等)

(4) レクリエーション: 家族や地域との合同活動をおこなった(ゆうほまつり、お楽しみ会)

(5) 相談支援: 相談支援事業所や地域の通所支援事業所、教育機関等と連携しながら家族等の相談援助を行なった。(個別面談の実施、担当者会議への参加)

(6) 送迎: サービス実施地域内において、学校、自宅への送迎サービスを行った。

(7) 事業所通信の発行: ゆうみんニュースを毎月1回発行し、活動の様子を家族に伝えた。

(8) 事故報告(0件)・発生報告(49件) ヒヤリハット(98件)

6. 会計 別添報告書参照

## 7. 職員研修その他

- ・法人研修（事業所目標、虐待防止研修、ハラスメント対策、感染症対策、入社3年目・5年目研修）
- ・管理職研修1回
- ・サポーターズカレッジ研修（月1回）
- ・事業所内研修（月1回）
- ・外部研修（AED講習、強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）、長崎市障害者自立支援協議会こども部会全体会・基礎講座、長崎特別支援学校学校公開、時和特別支援学校学校公開、諫早特別支援学校 性発達と支援方法、SST研修会、ペアレントトレーニング研修会）

## 8. 今年度の成果

- ・令和6年1月より児童発達支援事業を開始し、令和6年度中は4名の契約者あり。継続的な支援や関係機関との連携に取り組むことができ、ゆうみんとしての利用率も上がった。
- ・土曜日や長期休暇中は放デイと児発の利用者が一緒に活動をすることで、利用者同士の新たな関わりを支援することができた。
- ・報酬改定に伴い、新たな加算の取得、整備に取り組んだ。

## 9. 来年度への課題

- ・活動内容の充実
- ・職員間の連携、コミュニケーション
- ・関連機関との連携強化
- ・環境整備や構造化をおこない、利用者にとって過ごしやすい環境作りを進める

# 令和6年度 グループホーム・ショートステイ遊歩の家 事業報告書

1. 事業実施期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日

2. 開所日および開所時間 年中無休

3. 開所日数および利用状況

グループホーム ユニット①（女性） 7名

ユニット②（男性） 7名

ショートステイ ユニット②（男女兼用） 1名

ユニット①②	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
平均利用者数	13.5	13.2	13.5	13.4	13.1	13.3	13.2	13.2	13.0	12.6	13.2	13.5	13.2
延べ利用者数	405	410	407	417	406	399	410	396	404	391	370	419	4834
前年度平均利用者数	12.7	13.2	13.7	13.8	13.1	12.7	13.5	13.5	13.3	12	13.3	13.4	13.2

## ショートステイ

延べ利用者数	32	34	30	34	31	33	33	34	36	31	31	33	392
稼働率	107%	110%	100%	110%	100%	110%	106%	113%	116%	100%	111%	106%	107%
前年度平均利用者数	106%	84%	57%	60%	74%	90%	103%	123%	97%	84%	134%	119%	94%

4. 職員勤務体制

管理者・・・・・・・・・・1名(常勤兼務)

サービス管理責任者・・・・・・・・1名(常勤兼務)

生活支援員・世話人・・・・・・・・8名(常勤5名、非常勤3名)

生活支援員・世話人兼事務員・・・・1名(常勤)

5. 事業内容

(1) 共同生活支援事業（グループホーム）

- ・利用者に対する相談
- ・食事の提供
- ・健康管理・金銭管理の援助
- ・余暇活動の支援
- ・緊急時の対応
- ・職場等との連絡調整
- ・財産管理等の日常生活に必要な援助

(2) 短期入所事業（ショートステイ）

- ・入浴の介助、又は清拭
- ・排せつの介助
- ・食事の介助

- ・その他の必要な介助
- ・健康管理
- ・送迎サービス

(3) 事故報告 (0 件) 発生報告 (15 件) ヒヤリハット (155 件)

## 6. 会計 別添報告書参照

## 7. 職員研修その他

- ・法人研修 (事業所目標、虐待防止研修、ハラスメント対策、感染症対策、入社3年目・5年目・7年目研修、支援研修)
- ・管理職研修1回
- ・サポーターズカレッジ研修 (月1回)
- ・事業所内研修 (月1回)
- ・外部研修 (家族からのクレーム予防・説明力アップ、家族支援、AED講習、大人の発達障害、強度行動障害研修 (基礎・実践)、ICTオンライン研修、介護テクノロジー機器説明会、燃え尽きない自分づくりのためのストレスケア、口腔ケアのポイント、夜間リスクマネジメント、就労支援フォーラム2024、アンガーマネジメント、SST講習)

## 8. 今年度の成果

### \* グループホーム

- ・お楽しみ会、余暇活動の充実により利用率の向上と利用者の満足度も高められた。
- ・全室に眠りセンサーを設置。夜間帯や病気で就寝時に健康状態を把握できるようになった。
- ・医療連携加算 (週一回の訪問) を活用することにより看護師の訪問と相談、緊急時の電話連絡による対応の指示ができるようになった。

### \* ショートステイ

- ・定期利用者や緊急受け入れ等、個々のニーズに対応することにより、利用継続へと繋がった。
- ・年間を通じ、一定の利用率を維持することができた。

## 9. 来年度への課題

### \* グループホーム

- ・報酬改定による減額があり収支は令和5年度を下回った。令和7年度は配置体制を含め加算の変更が必要。
- ・女性スタッフの増員
- ・事業開始から7年が経過し施設の設備修理が多発してきている。

### \* ショートステイ

- ・緊急受け入れに対する急な予定の迅速な対応。
- ・常に情報収集に努め、できる限り職員同士及び他事業所と共有連携を図る。

# 令和6年度 障害福祉サービス事業所遊歩 事業報告書

1. 事業実施期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日

2. 開所日および営業時間 月曜日～土曜日 8:00～17:00  
 ※日曜、祝祭日、8月15日、12月30日から1月3日を除く

3. 開所日数および利用状況 (1日の利用定員各10名)

○生活介護 (atelier Wonder-ho!)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	24	25	26	24	24	26	24	24	23	23	25	293
延べ利用者数	247	230	209	234	229	229	232	235	229	211	198	247	2730
平均利用者数	9.8	9.5	8.3	9.00	9.	9.54	8.9	9.7	9.5	9.1	8.6	9.8	9.3
前年度平均利用者数	6.6	7.8	7.0	6.6	6.8	7.3	7.4	7.5	6.9	6.6	6.6	8.2	7.1

○就労継続支援B型 (working share Hi-ho!)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	24	25	26	24	24	26	24	24	23	23	25	293
延べ利用者数	233	213	209	232	217	218	201	204	188	207	189	227	2538
平均利用者数	9.3	8.8	8.3	8.9	9.0	9.0	7.7	8.5	7.8	9.0	8.2	9.0	8.6
前年度平均利用者数	7.1	7.1	6.8	6.6	6.6	6.7	7.0	6.3	6.2	6.6	6.8	8.2	6.8

4. 職員勤務体制

- 管理者兼生活支援員 . . . . . 1名 (常勤兼務)
- サービス管理責任者 . . . . . 1名 (常勤兼務)
- 生活支援員 . . . . . 6名 (常勤2名、非常勤4名)
- 生活支援員兼調理員 . . . . . 1名 (常勤)
- 職業指導員 . . . . . 1名 (常勤)
- 看護師兼生活支援員 . . . . . 1名 (常勤)
- 調理員 . . . . . 1名 (非常勤)
- 生活支援員兼管理栄養士 . . . . . 1名 (非常勤)
- 生活支援員兼事務員 . . . . . 2名 (非常勤)
- 運転支援員 . . . . . 2名 (非常勤)
- 製菓作業員 . . . . . 2名 (非常勤)

5. 事業内容

(1)活動内容

○生活介護 (atelier Wonder-ho!)

絵画、貼り絵、折り紙、パソコンでの造形など利用者の強みを活かした芸術活動。  
 利用者のデザインの商品化。その他日常生活支援 (食事・排せつ介助等)。

○就労継続支援 B 型 (working share Hi-ho!)

給食提供に係る調理補助作業、飲食店運営に関わる調理補助・接客作業、その他付随する軽作業、就労に必要な研修

(2)地域活動

外出活動：季節ごとの外出活動

生活介護・就労継続支援 B 型合同での外出活動

(3)実習受け入れ

鶴南特別支援学校高等部 (職場体験実習)

虹の原特別支援学校高等部 (職場体験実習)

諫早特別支援学校高等部 (職場体験実習)

(4)地域貢献

地域の子どもたち向けの陶芸教室、地域開放イベントの開催

(5)インターンシップ受け入れ

長崎総合科学大学 3 年生

(6)その他

利用者面談、健康診断、環境整備活動、避難訓練、事業所通信の発行

(7)事故報告 (0 件) 発生報告 (16 件) ヒヤリハット (243 件)

6. 会計 別添報告書参照

7. 職員研修その他

- ・法人研修 (事業所目標、虐待防止研修、ハラスメント対策、感染症対策、入社 3 年目・5 年目・7 年目研修)
- ・管理職研修 1 回
- ・サポーターズカレッジ研修 (月 1 回)
- ・事業所内研修 (月 1 回)
- ・外部研修 (県社協階層別研修、障害児・者支援研修、ペアレントトレーニング研修、AED 講習、サービス管理責任者基礎研修、長崎県特別支援学校キャリア検定見学研修、就労フォーラム NIPPON2024、アートを学ぼうペイントワークショップ、レクリエーション研修、長崎市自立支援協議会就労支援部会、アールブリュット&実践セミナーはじめの一步、甲種防火管理者講習、清水基金国内研修、あゆみの家アート活動見学研修)

8. 工賃の支払い

○就労継続支援 B 型

R5 年度

実績工賃額 年間総支給額 1,706,731 円 (一人当たり月平均工賃 21,044 円)

R6 年度

目標工賃額 年間支給総額 2,120,000 円

実績工賃額 年間支給総額 2,187,567 円（一人当たり月平均工賃 20,941 円）

・工房事業収入、工賃支給額は5年度より増えたが、利用者数の増加により平均工賃月額は下回った。次年度は新しい利用者も3名増えるため、工賃の確保は急務、新しい作業への取り組みが不可欠。

## ○生活介護

R5 年度

実績工賃額 年間総支給額 37,169 円

R6 年度

目標工賃額 年間総支給額 45,000 円

実績工賃額 年間総支給額 49,661 円

・目標額を上回ることができたが、満足のいく金額を支払うことができていない。商品の宣伝等を検討していく必要がある。

## 9. 今年度の成果

- ・利用率は前年度を上回ることはできたが、生活介護 9.3、就労継続支援 B 型 8.6 名と定員まで達することができなかった。
- ・事業所の収支については就労継続支援 B 型ではマイナス収支になったが、事業所としてはプラス収支に持っていくことができた。
- ・就労継続支援 B 型の工房事業においては前年度よりプラス 1,500,000 円ほど収入をあげることができた。工賃については前年度より 460,000 円ほど多く支払うことができたが、利用者が増えたこともあり、平均工賃額をあげることまでは至らなかった。
- ・生活介護の ART 活動はブリックホール、市役所などの作品展を定着させることができた。
- ・地域活動として、子ども達へむけた作教室の定着とともに、地域住民参加型のイベントを開催することができた。ただ、集客が思うようにいかず、今後課題も残した。

## 10. 来年度への課題

- ・就労継続支援 B 型の作業の確保
- ・hand made café Hi-ho!への集客増
- ・外部団体や企業との連携、発信
- ・職員のスキルアップ